

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No.5)

平成30年6月25日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月下旬現在、ニセナシサビダニの発生量は平年並となっている。

2. 情報の根拠

- (1) 6月下旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は1333.0頭(平年:1391.5頭)で、発生量は平年並となっている(表1)。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、本種の増殖には好適な気象条件が続くと予想される。

表1 ニセナシサビダニの発生活動(園芸試験場)

月・旬	本年	平年
5・上	12.8	1.4
5・中	25.0	7.6
5・下	243.0	56.4
6・上	743.0	384.9
6・中	1,460.4	1,094.3
6・下	1,333.0	1,391.5

注) 殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数(3樹10葉調査)

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種(ハダニ類、サビダニ類など)は、発生初期の防除(初期密度の低い時点での防除)が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晩の影響が大きい。
- (2) 新梢の停止期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は、追加防除を行う。

(参考)

防除区(5月23日・6月15日にハチハチフロアブル2000倍液を散布)におけるニセナシサビダニの発生活動

表 ニセナシサビダニの発生活動(園芸試験場)

月・旬	防除区	無散布区
6・上	64.8	743.0
6・中	57.2	1,460.4
6・下	102.0	1,333.0

注) 1葉あたり寄生個体数(3樹10葉調査)

要約: 6月下旬現在、防除区のニセナシサビダニの発生密度は低い。